

1. 来場者数等の推移

年 度	平成19年	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	
ホームページアクセス件数 ^{※1}	—	—	—	31,771	34,571	39,405	88,025	122,621	114,159	122,955	
施設公開回数	0	1	1	1	5	1	0	0	0	1	
来場者数 ^{※2}	技術研修及び指導	481	948	256	935	968	1,198	936	696	468	348
	体験学習	39	180	2,528	2,289	1,473	7,238	2,945	1,703	2164	1,696
	インターンシップ	18	0	0	0	2	1	2	2	0	0
	見学	609	59	47	121	277	6	36	87	55	74
	その他	100	1,011	497	206	328	154	89	111	99	801
計	1,247	2,198	3,328	3,551	3,053	8,597	4,008	2,599	2,786	2,919	
成果発表会等の開催回数等	成果発表会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	セミナー（講習会）	5	18	12	14	19	33	24	18	5	5
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	6	19	13	15	20	34	25	19	6	6
刊行物の発行回数	業務年報	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	研究報告	1	0	0	1	1	1	0	1	0	0
	成果情報	4	4	4	4	4	4	4	4	4	6
	計	6	6	5	5	6	6	5	6	5	7

※1 平成22～26年はグーグルアナリティクス集計による。

※2 出前も含む。

2. 漁業関係者、学生等を対象とした主要な講習会、研修会及び報告会

年 月 日	場 所	対 象	人 数	表 題
平成28年4月～平成29年2月(5回)	由岐公民館	美波の海のめぐみ研究会	56	ワカメ等新品種試験用種苗の養殖
平成28年5月(3回)	鳴門庁舎	徳島大学新入生	120	水産研究について新入生実習
平成28年9月23日	徳島市内	アユ養殖組合	7	アユの魚病と医薬品の適正使用について
平成28年11月19日	水産会館	漁業者、学生、一般県民	70	マリンサイエンスシンポジウム
平成28年1～2月(3回)	徳島大学	徳島大学生物工学科3年生	30	農工連携スタディ授業
合計			283	

3. 一般県民を対象とした体験学習及び展示等

年 月 日	場 所	対 象	人 数	表 題	担 当
平成28年10月16日	和田島漁協	一般県民	500	和田島チリメン祭	水産研究課
平成28年11月5,6日(2日間)	農林水産総合技術支援センター(石井)	一般県民	1,000	センターフェアタッチングプール、展示	水産研究課
平成28年11月15日	海部高校	海部高校数理科1年生	30	マリンサイエンス授業	海洋生産技術
平成28年11月26日	小松島市港広場	一般県民	500	小松島うまいもん祭りタッチングプール、展示	水産研究課
平成28年11月29日	鳴門庁舎	徳島県科学技術高校1年生	35	水産研究所の取組紹介とタッチングプール	水産研究課
平成28年12月10日	農林水産総合技術支援センター(石井)	一般県民	60	アジアカエビ料理教室	水産研究課
平成28年12月27日	美波庁舎	徳島大学・阿南高専：科学技術高校教官、美波町職員	13	研究防災棟見学	海洋生産技術
平成29年2月3,21日(2日間)	鳴門庁舎	徳島科学技術高校1年生	60	ワカメ収穫及び加工実習	環境増養殖
平成28年1月30日	水産研究課鳴門庁舎	一般県民	27	アイゴ料理教室	全所
合計			2,225		

4. 水産研究所の報道実績

- 1 平成 28 年 4 月 23 日 (徳島新聞)「鳴門わかめ生産人工授精活用 夏場の高温対策」
- 2 平成 28 年 7 月 12 日 (徳島新聞)「県・徳島大・阿南高専 水産業振興 知の拠点設定」
- 3 平成 28 年 7 月 16 日 (徳島新聞)「県など 3 者 鳴門・海部に水産業振興拠点設置協定」
- 4 平成 28 年 9 月 3 日 (徳島新聞)「県と鳴門の漁協 赤潮被害連携阻止 迅速な連絡奏功」
- 5 平成 28 年 9 月 6 日 (徳島新聞)「県 養殖ノリ色落ち防止 海水の栄養塩濃度を高める」
- 6 平成 28 年 9 月 28 日 (徳島新聞)「県 種苗生産施設イセエビ畜養拠点に 出荷調整」
- 7 平成 28 年 10 月 12 日 (徳島新聞)「県開発の生育早い新種ワカメ 海部沖でも適応」
- 8 平成 28 年 10 月 24 日 (徳島新聞)「海部沿岸 海水温最高 8 月 29.2 度 日射量等要因」
- 9 平成 28 年 11 月 3 日 (日本経済新聞)「県 高水温に強いアオノリ 品種改良増産」
- 10 平成 28 年 11 月 5 日 (徳島新聞)「県 高温耐性スジアオノリ 近く試験養殖」
- 11 平成 28 年 11 月 8 日 (NHK)「スジアオノリ安定生産 対策検討」
- 12 平成 28 年 11 月 9 日 (徳島新聞)「県 スジアオノリ養殖場所調査 安定生産目指す」
- 13 平成 28 年 11 月 10 日 (徳島新聞)「県・徳島大・阿南高専 海と漁業シンポジウム」
- 14 平成 28 年 11 月 11 日 (徳島新聞)「美波・ワカメ試験養殖 科技高作ロープ活用」
- 15 平成 28 年 11 月 12 日 (四国放送)「県南の海でワカメ養殖の実験」
- 16 平成 28 年 11 月 13 日 (徳島新聞)「美波海の恵み研 ワカメ試験養殖開始」
- 17 平成 28 年 11 月 20 日 (徳島新聞)「県など 徳島の海と漁業考えるシンポジウム」

4. 水産研究所の報道実績（続き）

- 18 平成 28 年 12 月 3 日（朝日新聞(関西版)）「関西食百景 119 徳島のアオリイカ」
- 19 平成 28 年 12 月 6 日（徳島新聞）「沖縄の海藻でアワビ養殖 徳大と県、実用化へ」
- 20 平成 28 年 12 月 8 日（朝日新聞(徳島版)）「関西食百景 119 徳島のアオリイカ」
- 21 平成 28 年 12 月 10 日（徳島新聞）「水産研究知って 海部高校で県職員が講演」
- 22 平成 28 年 12 月 12 日（徳島新聞）「アジアカエビおいしい! 県ブランド化へ料理教室」
- 23 平成 28 年 12 月 13 日（NHK）「鳴門わかめ種付け体験」
- 24 平成 29 年 3 月 28 日（徳島新聞）「県農水センター美波庁舎の改築完了 現地で落成式」
- 25 平成 29 年 3 月 28 日（NHK）「水産研究課美波庁舎 落成式」
- 26 平成 29 年 3 月 28 日（四国放送）「水産研究課美波庁舎 落成式」

5. 研究業績

論文発表

- 1) Kohsuke Adachi, Mao Yabumoto, Haekyun Yoo, Katsuji Morioka, Yuzuru Ikeda, Yukio Ueta & Yasunori Sakurai, Salt soluble without jelly-like component from the oviducal gland induces chorionic expansion in the ova of the Japanese common squid *Todarodes pacificus*, *Invertebrate Reproduction & Development*, <http://dx.doi.org/10.1080/07924259.2016.1229234>
- 2) Satoshi Tomano, Gustavo Sanchez, Kentaro Kawai, Noriyasu Kasaoka, Yukio Ueta, Tetsuya Umino, Contribution of *Sepioteuthis* sp. 1 and *Sepioteuthis* sp. 2 to oval squid fishery stocks in western Japan, *Fisheries science* (2016) 82:585–596.
- 3) 池脇義弘, 牧野賢治, 西岡智哉, 平野匠, 上田幸男, ゼラチンを用いた藻類養殖用施肥剤の開発, *日本水産学会誌*, 82, 2016, 917-922.
- 4) 小林志保, 松村圭高, 河村耕史, 中島昌紀, 山本圭吾, 秋山 諭, 上田幸男, 大阪湾における溶存有機物の起源推定および栄養塩の形態変化. *水環境学会誌*, 40, 2017, 97-105.
- 5) 棚田教生, フリー配偶体を用いたワカメの実用規模種苗生産法および高水温耐性品種の開発, *海洋と生物*, 38, 2016, 464-471.
- 6) 棚田教生, ワカメ養殖筏に集まる魚たち. *瀬戸内海*, 72, 2016, 69-70.

学会発表

- 1) 川龍祥子 (高知大農)・上田幸男 (徳島農水総技セ)・足立亨介・森岡克司 (高知大農), 短期間の飼育環境制御によるクマエビのアスタキサンチン高含蓄化の試み. 日本水産学会中国・四国支部例会, 平成 28 年 10 月 22 日 (土) 於 広島大学生物生産学部.
- 2) 川龍祥子 (高知大農)・上田幸男 (徳島農水総技セ)・足立亨介・森岡克司 (高知大農), 短期間の飼育環境制御によるクマエビのアスタキサンチン高蓄積化. 第 2 回「四国オープンイノベーションワークショップ in 松山」, 平成 28 年 11 月 3 日 (土) (予定) にぎたつ会館 (愛媛県松山市).

3) 笠野哲史 (広大院生物圏科)・笠岡祝安 (中山製鋼)・上田幸男 (徳島農水総技セ)・今井秀行 (琉球大理)・海野徹也 (広大院生物圏科),和歌山から台湾にかけてのアオリイカ属“赤いか”集団の遺伝分化.平成 29 年度公益社団法人日本水産学会春季大会.

4) 棚田教生 (徳島県水研)・團昭紀 (徳島大生物資源産業)・吉田太輔・清川智之 (島根県水技セ)・村内嘉樹 (愛知県水試),フリー配偶体を用いたワカメ種苗生産法の国内 3 産地における実用化とその効果. 日本応用藻類学会第 15 回大会,*Algal Resources*, 9, 2016, 37-38.

5) 岡直宏 (徳大生物資源産業)・棚田教生 (徳島県水研)・團昭紀・浜野龍夫 (徳島大生物資源産業)・小林大起・今井洋斗 (徳大院総科),徳島県太平洋沿岸におけるワカメ養殖の実用化に向けた品種改良.日本応用藻類学会第 15 回大会,*Algal Resources* 9, 2016, 38.

6) 小林大起 (徳大院総科)・岡直宏・團昭紀・齋藤稔 (徳大生物資源産業)・倭遼志 (徳大総科)・今井洋斗・喜多郁弥 (徳大院総科)・松田春菜 (四国大学)・棚田教生 (徳島県水研)・岡崎孝博 (徳島県南部県民局)・浜野龍夫 (徳大生物資源産業),徳島県美波町における海藻養殖漁業の六次産業化.日本応用藻類学会第 15 回大会,*Algal Resources* 9, 2016, 43.

7) 今井洋斗 (徳大院総科)・倭遼志 (徳大総科)・小林大起・喜多郁弥 (徳大院総科)・岡直宏・團昭紀・齋藤稔 (徳大生物資源産業)・松田春菜 (四国大学)・棚田教生 (徳島県水研)・岡崎孝博 (徳島県南部県民局)・浜野龍夫 (徳大生物資源産業),徳島県海部沿岸の漁業者が行う海藻の脱水・素干し・粉碎技術の開発.日本応用藻類学会第 15 回大会
Algal Resources 9, 2016, 44.